

山梨県甲府市「帯那地域活性化推進協議会」との企業の農園づくり推進事業

2017年 山梨県甲府市上帯那 社員が稲刈りに参加しました！

2017年度
第3回活動レポート
2017年9月16日（土）



ファミリーマート社員10名が参加しました！

耕作放棄地の面積率が全国2位の山梨県。ファミリーマートは2011年5月に帯那地域活性化推進協議会（甲府市）と、「企業の農園づくりに関する包括協定」を締結しました。以降、帯那地域活性化推進協議会の皆さんと交流を深めながら、山間地域にある甲府市上帯那（かみおびな）地域にて、農作物をつくることで、田畑の再生をお手伝いする活動に取り組んでいます。第1回5月の田植えから4ヶ月。大きく成長した稲の収穫を行いに帯那を訪れました。

Report

大きく実った黄金の稲穂！



台風の接近で不安定な天気の日。稲が濡れてしまうと収穫ができないと心配しましたが、曇り空の中稲刈りを決行することができました。

汗を流し、みんなで一生懸命田植えをした5月からあつという間の4か月。7月のジャガイモ掘りで「稲は順調に育っているよ！」と仰っていたお言葉通り、田んぼに到着すると黄金色に輝く稲穂が風に揺れ、サラサラと心地よい稲の音色が聞こえてきました。小さな苗は4か月という期間で大きくまっすぐ成長し、穂先にはたくさんの実を实らせていました。

こどもたちの楽しそうな笑い声が響き渡る棚田には、既にたくさんの方が集まってくださっていました。上帯那のみなさんをはじめ、田植えも一緒に手伝ってくれた甲府市立千代田小学校のみなさん、そしてファミリーマートの社員10名、総勢約40名でいざ稲刈りのスタートです！



コスモスがきれいに咲き、上帯那の景色はすっかりと秋めいていました。



5月に田植えを行った田んぼは3反。帯那地域活性化推進協議会のみなさんが刈り方を丁寧に教えてくださり、手作業と刈り取り機を使って稲を刈っていきます。機械で刈り取ることが難しい棚田の淵は手作業での刈り取りです！みんなで腰を屈めてせっせと刈っていくのですが、これがなかなかの重労働です。昔の人は全て手作業で収穫していたのですから、本当に大変だっただろうなと実感します。そんなことを考えながらみんな一生懸命刈り取り作業を進めます。

そして、刈り取った稲は天日干しを行うため、藁を使ってまとめていきます。2〜3束刈り取ったら軸の部分を揃え、ほどけのないように力を入れてしっかりと結びます。天日干しは稲を刈り取った後の田んぼにやぐらを組み、そこに稲をひっかけて乾燥させます。これもまた重労働でしたが、みんなで協力し合ったおかげで短時間で作業が完了しました。これから約10〜15日間天日干しをし、十分に乾燥してから脱穀・精米を経て、やっと美味しいお米の出来上がりです。頑張った分、出来上がりがとても待ち遠しいです。日々当たり前のようにいただく食べ物、暑い日も寒い日も農家のみなさんが一生懸命愛情を込めて作ってくださっていることを再認識できる貴重な体験でした。



カマを使っての刈り方を教えていただきます。成長した稲は大人の腰丈まで育っていました！



刈り取り機はとても優秀！刈った稲をまとめて結んでくれます・・・早いっ！



藁で2〜3束をしっかりとまとめます。結び方も難しく、力も必要です。



たくさん収穫できたのでまとめる作業も大変！



天日干し作業



あとは乾燥するまで待ちます。



上帯那で収穫した野菜を使った料理がたくさんテーブルに並びました。いつも美味しい昼食ありがとうございます！

甘くておいしい
上帯那のスイカ



末木会長よりご挨拶をいただき、みんなでワイワイ昼食をいただきました。



千代田小学校のこどもたち稲刈りの後は虫取りに夢中！

